

ポップでしようかいしよう
「大造じいさんとガン」

椋むく 鳩はとじゆう 十

めあて

四の場面を読んで、作者の伝えたいことを読み取ろう。

大造じいさんの気持ちが分かる言葉

- ・ふたをいっぱい開けてやりました。
- ・ひきょうなやり方でやつつけたかあないぞ。
- ・また堂々と戦おうじゃないか。
- ・大きな声でガンによびかけました。

大造じいさんと残雪の関係

- ・ライバル
- ・人間と人間のような
- ・友達みたいな
- ・温かい

(な) 関係



作者の伝えたいこと

大造じいさんと残雪の

- ・人間と動物のライバル関係
- ・人間と動物の友情
- ・人間と動物の約束
- ・人間と鳥の温かい関係

学習したこと

・作者の伝えたいことは、中心人物と他の登場人物との
かわりから考える。



7 / 9 時間目 指導略案 使用するワークシート・・・ポップシート
活動のねらい

四の場面の内容を読み取らせ、作者の伝えたいこと(主題)を考えさせる。

1 学習の見通しをもつ。

四の場面の内容を基に、作者の伝えたいことについて考えさせ、ポップシートの
キャッチコピーのところに書くことを確認する。

2 四の場面を読み、主題について考える。

四の場面を読み、大造じいさんの気持ちが分かる言葉を抜き出す。
会話文や行動を表す言葉を基に、大造じいさんの気持ちを想像させる。

【発問】大造じいさんと残雪はどんな関係になったのでしょうか。

大造じいさんと残雪の関係を考える。

残雪を見送る大造じいさんの気持ちから、大造じいさんと残雪の関係は、普通の
人間と動物の関係ではないことに気付かせる。

3 作者の伝えたいことは何か考える。

【発問】作者の伝えたいことは何か考えましょう。

自分なりの考えをもつ。

* 主題にまとめていく際、作者の伝えたいことは、「大造じいさんと残雪の
と考えさせ、その後、大造じいさんを人間に、残雪を動物に置き換えさせるとよい
でしょう。

考えを全体で交流する。

全体で交流させていくことで、自分の気付かなかった考えに触れさせる。

ポップシートのキャッチコピーと四の場面の紹介、自分のしようかい文を書かせ
る。

評価 作者の伝えたかったことについて、自分なりの考えをワークシートに
書いている。

4 大造じいさんとガンを紹介するポップのタイトルと自分の紹介文を書き込む。

5 本時を振り返り、次時は物語を読んでポップを作ることを確認する。